

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	58,295,175	32,487,265	25,807,910
未収金	33,133	40,764	△ 7,631
前払金	0	1,000,000	△ 1,000,000
流動資産合計	58,328,308	33,528,029	24,800,279
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	102,930,180	0	102,930,180
普通預金	0	100,000,000	△ 100,000,000
投資有価証券	1,912,350,000	2,387,350,000	△ 475,000,000
基本財産合計	2,015,280,180	2,487,350,000	△ 472,069,820
(2) 特定資産			
事業安定基金	1,384,886,144	1,264,840,098	120,046,046
資産活用基金	198,675,749	120,958,389	77,717,360
特定資産合計	1,583,561,893	1,385,798,487	197,763,406
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	2,821,500	0	2,821,500
敷金	2,400,000	2,400,000	0
その他固定資産合計	5,221,500	2,400,000	2,821,500
固定資産合計	3,604,063,573	3,875,548,487	△ 271,484,914
資産合計	3,662,391,881	3,909,076,516	△ 246,684,635
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,421,268	1,031,030	390,238
預り金	318,749	16,636	302,113
流動負債合計	1,740,017	1,047,666	692,351
負債合計	1,740,017	1,047,666	692,351
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	
2. 一般正味財産			
3,660,651,864	3,908,028,850	△ 247,376,986	
(うち基本財産への充当額)	(2,015,280,180)	(2,487,350,000)	△ 472,069,820
(うち特定資産への充当額)	(1,583,561,893)	(1,385,798,487)	△ 197,763,406
正味財産合計	3,660,651,864	3,908,028,850	△ 247,376,986
負債及び正味財産合計	3,662,391,881	3,909,076,516	△ 246,684,635

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券  
時価のあるもの・・・期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェア・・・定額法によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	0	102,930,180		102,930,180
普通預金	100,000,000		100,000,000	0
投資有価証券	2,387,350,000		475,000,000	1,912,350,000
小 計	2,487,350,000	102,930,180	575,000,000	2,015,280,180
特定資産				
事業安定基金	1,264,840,098	120,046,046		1,384,886,144
資産活用基金	120,958,389	77,717,360		198,675,749
小 計	1,385,798,487	197,763,406		1,583,561,893
合 計	3,873,148,487	300,693,586	575,000,000	3,598,842,073

※1基本財産の投資有価証券の当期増加額及び減少額は、基本財産評価損益等によるものである。

※2事業安定基金の当期増加額は、事業安定基金評価損益等によるものである。

※3資産活用基金の当期増加額は、資産活用基金評価損益等によるものである。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	102,930,180	(0)	(102,930,180)	—
投資有価証券	1,912,350,000	(0)	(1,912,350,000)	—
小 計	2,015,280,180	(0)	(2,015,280,180)	—
特定資産				
事業安定基金	1,384,886,144	(0)	(1,384,886,144)	—
資産活用基金	198,675,749	(0)	(198,675,749)	—
小 計	1,583,561,893	(0)	(1,583,561,893)	—
合 計	3,598,842,073	(0)	(3,598,842,073)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	2,970,000	148,500	2,821,500
合 計	2,970,000	148,500	2,821,500

## 5. その他

### (1) 金融商品の状況

#### 1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債)であり、一定の範囲の条件で行っている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない。

#### 2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

#### 3) 金融商品のリスクに係る管理体制

##### ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の金融財産の管理運用に関する規則に基づき行う。

##### ②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

##### ③市場リスクの管理

株式については時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しています。

### 2. 引当金の明細

引当金の明細については、該当事項はありません。

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	59,372,224	38,403,146	20,969,078
基本財産受取利息	472,224	403,146	69,078
基本財産受取配当金	58,900,000	38,000,000	20,900,000
特定資産運用益	52,307,450	26,791,383	25,516,067
事業安定基金受取利息	16,304,624	1,538,906	14,765,718
資産活用基金受取利息	5,642	554	5,088
事業安定基金受取配当金	33,126,863	23,085,360	10,041,503
資産活用基金受取配当金	2,870,321	2,166,563	703,758
雑収益	39,980	2,414	37,566
受取利息	727	452	275
為替差益	39,253	1,962	37,291
経常収益計	111,719,654	65,196,943	46,522,711
(2) 経常費用			
事業費	77,229,366	59,926,561	17,302,805
役員報酬	5,976,000	3,268,000	2,708,000
給料手当	3,793,887	3,251,907	541,980
諸謝金	2,300,000	2,860,000	△ 560,000
福利厚生費	1,044,340	566,261	478,079
会議費	39,730	18,713	21,017
旅費交通費	977,041	94,744	882,297
通信運搬費	684,131	669,868	14,263
減価償却費	148,500	0	148,500
消耗什器備品費	283,566	61,244	222,322
消耗品費	188,624	137,742	50,882
印刷製本費	2,168,173	3,381,400	△ 1,213,227
光熱水料費	79,997	95,270	△ 15,273
賃借料	2,266,600	2,400,084	△ 133,484
租税公課	927,148	378,668	548,480
支払助成金	48,260,760	36,182,922	12,077,838
委託費	3,779,500	1,205,183	2,574,317
調査研究費	1,900,000	1,879,000	21,000
雑費	2,411,369	3,475,555	△ 1,064,186
管理費	7,560,860	6,536,740	1,024,120
役員報酬	2,564,000	1,932,000	632,000
給料手当	948,471	812,976	135,495
諸謝金	1,980,000	1,980,000	0
福利厚生費	261,083	141,560	119,523
会議費	41,280	0	41,280
旅費交通費	66,448	21,217	45,231
通信運搬費	153,298	114,512	38,786
消耗什器備品費	70,889	15,311	55,578
消耗品費	37,815	31,520	6,295
光熱水料費	19,995	23,813	△ 3,818
賃借料	566,648	600,012	△ 33,364
租税公課	365,755	222,727	143,028
委託費	55,000	72,600	△ 17,600
雑費	430,178	568,492	△ 138,314
経常費用計	84,790,226	66,463,301	18,326,925

科 目	当年度	前年度	増 減
評価損益等調整前当期経常増減額	26,929,428	△ 1,266,358	28,195,786
基本財産評価損益等	△ 472,069,820	380,000,000	△ 852,069,820
特定資産評価損益等	197,763,406	△ 8,905,326	206,668,732
事業安定基金評価損益等	120,046,046	△ 8,275,437	128,321,483
資産活用基金評価損益等	77,717,360	△ 629,889	78,347,249
評価損益等計	△ 274,306,414	371,094,674	△ 645,401,088
当期経常増減額	△ 247,376,986	369,828,316	△ 617,205,302
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度助成金返還額	0	1,110,388	△ 1,110,388
経常外収益計	0	1,110,388	△ 1,110,388
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,110,388	△ 1,110,388
当期一般正味財産増減額	△ 247,376,986	370,938,704	△ 618,315,690
一般正味財産期首残高	3,908,028,850	3,537,090,146	370,938,704
一般正味財産期末残高	3,660,651,864	3,908,028,850	△ 247,376,986
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,660,651,864	3,908,028,850	△ 247,376,986